

贈り旗のぼりに映桃

大堀区自治会 植樹体験の縁から

福知山市北小谷ヶ丘、桃映中学校（一色浩幸校長）は15日、大堀区自治会（河谷寅夫会長）から、学校ののぼり旗の寄贈を受けた。生徒を代表して受け取った生徒会副会長

の藤原雪羽さん（2年）は「たくさんのはぼり旗をありがとうございます。いろいろな学校行事や部活動の大会などで役立てたい」と感謝した。

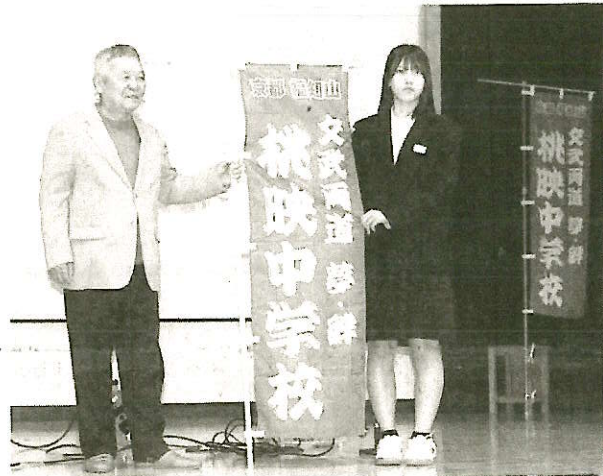
のはぼり旗は縦150センチ、横45センチで、学校名と教育目標の「文武両道」が印字されており、12本が贈られた。

同校2年生の65人中18人が昨年12月、大堀区自治会が所有する森垣の区有林で、豊かな森づくり事業として取り組むコナラの植樹を体験した。植樹を手伝うのは3年目。今回は計画の200本のうち100本を生徒たちが

植えた。その縁から同自治会は「学校に役立つものを」と、のはぼり旗の寄贈を決めた。体育館で行われた贈

呈式で河谷会長と藤原さんが登壇。植樹体験をした藤原さんは「体験を通して、私たちの生活は地域の方々に守

られていると実感し、地球温暖化防止などに貢献できていることに誇りを持ちました。本当にありがとうございます。ありがとうございました」と礼を述べた。河谷会長は「これからも地域の人たちと交流して、つながりを大事にしてもらえたら」と伝え、のはぼり旗を手渡した。



河谷会長からのぼり旗を受け取る藤原さん（右）

両丹日日新聞

2023.2.17